

色彩に対する好嫌=就いて
南崎悦子, 橋本まさ子, 石川千恵子, 伊藤秀三郎 (桐丘短大)

(目的)

色彩に対する好嫌を検討する。

(方法)

単純に色紙を提示し、好嫌判定を行う。

色紙としては、大小二種と表裏異色の三種類である。

自律神経緊張度を調べるには、質問紙法(伊藤等作製)を利用する。

被験者は、本学生活科学科一年生男女学生全員である。

(結果)

小色紙

好 白, 黒, 赤 嫌 樺, 紫, 黒味茶・赤・桃

大色紙

好 白, 赤, 黒 嫌 黒味茶・濃桃, 樺, 赤紫

表裏異色色紙

好 濃青-淡青, 濃紫-淡紫, 濃緑-淡緑・赤黒 嫌 濃樺-淡樺, 赤-黒, 赤-淡紫

神経緊張度 交感 I 副交感 III

質問 03-334-1791 伊藤(秀)